めざせお米大使

青森県十和田市　　十和田市立南小学校

調査年月日：平成25年8月5日

1　概要

①　≪概要・データ≫

・地域の基幹産業である農業について、農家の工夫や努力を知ることにより、農業や地域に愛着を持ってもらうことを目的に、農業体験を平成２３年度から実施。
・総合的な学習の時間のほか、社会科、図工、国語、家庭科の時間も使いながら、全体で４３時間を確保。５年生３クラスの１３０名が参加。

②　≪特徴的な取組≫

・取組内容は、田植え、稲刈り、脱穀（一部手回しの唐箕を使用）、おむすび作り、稲わらを利用したしめ飾り作り、詩と粘土作品（田んぼの守り神）作り。
・水田は、学校から徒歩で３０分ほどのところにあり、元職員（現在は農業）から直接農作業の方法や水田の管理まで、全面的な指導と協力を得ている。
・脱穀の農具（唐箕）を、昔の農具を所有している十和田市立新渡戸記念館から借用し、使い方の指導を受けている。
・春休み期間に、詩と粘土作品を十和田市現代美術館に展示し、来館者から好評を得ている。

農家先生より説明を受ける生徒たち

2　今後の課題、目標等

・近くに水田を借りたいが、学校周辺が住宅地のため、難しい状況にある。
・活動が長期間にわたるため、メニュー作りや時間数の確保に労力を要している。
・平成２６年度の修学旅行（小学６年生、函館市）では、市役所・ＪＡの協力を得て、十和田市産の農産物を持参し、ＰＲすることを計画している。